

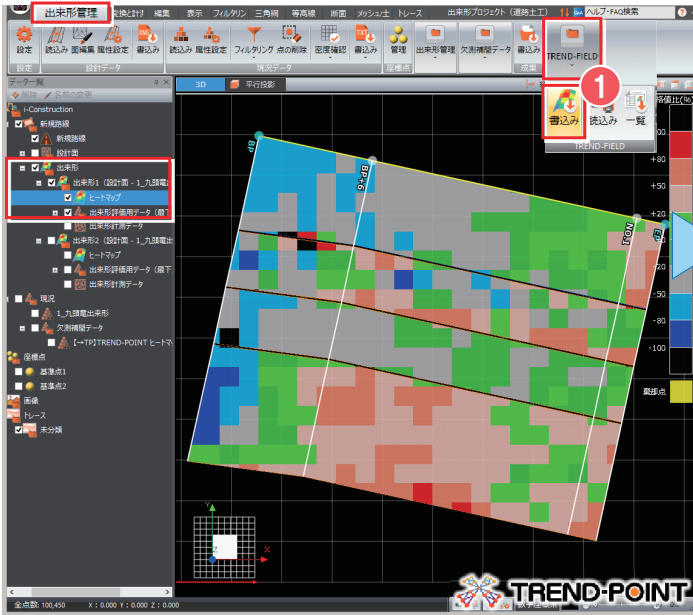


# 外部端末を利用した実地検査と再測

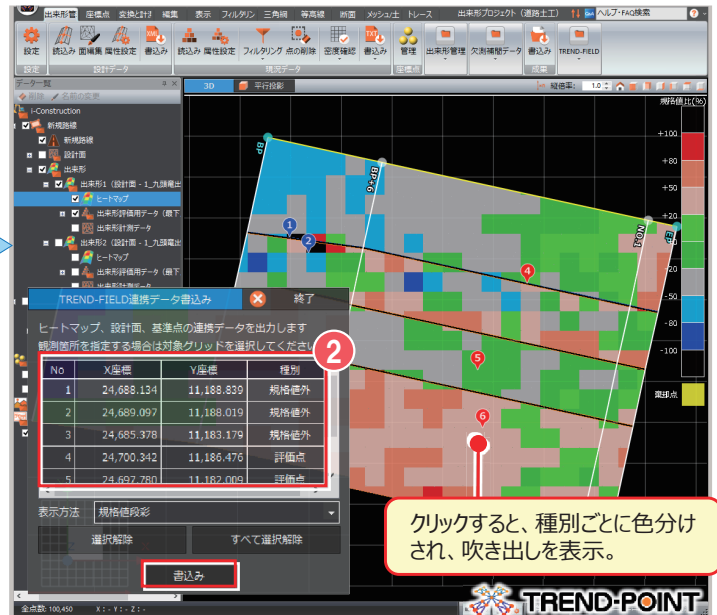
TREND-POINTで作成したヒートマップデータをTREND-FIELDへ連携し、現場端末での検査や欠測補間についてご説明します。計測した実測値は、TREND-POINTヒートマップデータ内の設計面との差が表示されるため、容易に比較することができます。

## 6-1. TREND-FIELDでヒートマップ検査

① 【TREND-POINT】で作成したヒートマップを開きます。  
[出来形管理] タブより  
[TREND-FIELD-書込み] をクリックします。

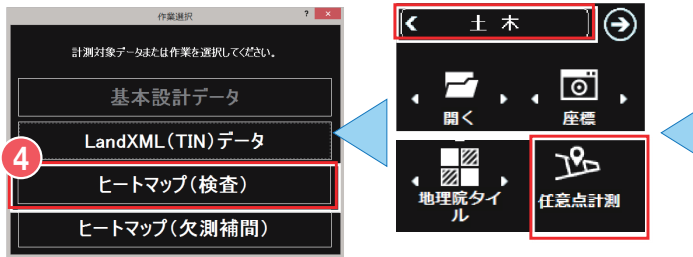


② ヒートマップより、検査箇所や規格値外箇所をクリックし、[書込み] をクリックします。

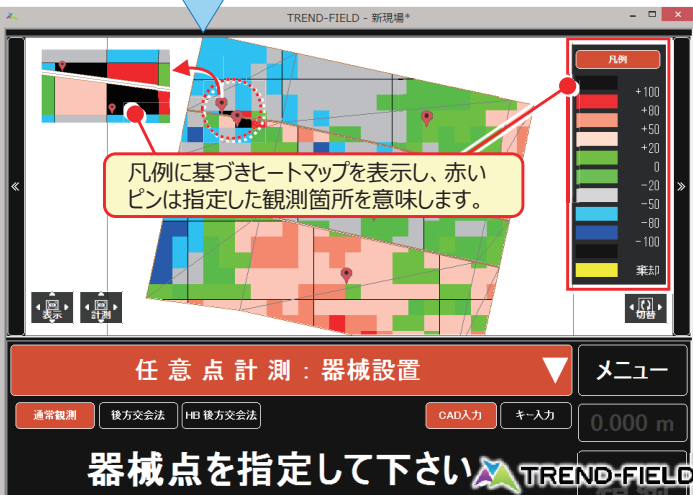
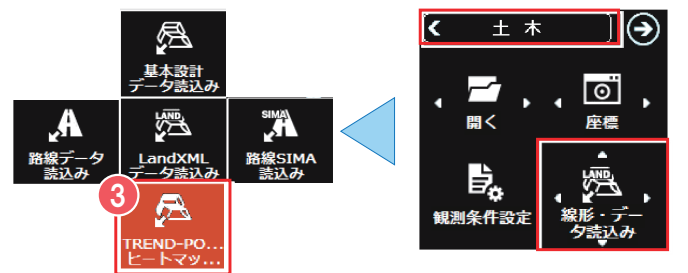


クリックすると、種別ごとに色分けされ、吹き出しを表示。

④ [土木-任意点計測] をクリックし、「ヒートマップ (検査)」を選択します。  
接続設定後、器械を設置し、計測 (検査) します。



③ 【TREND-FIELD】を起動し、  
[土木-線形・データ読み込み-TREND-POINTヒートマップ] を  
クリック\*\*\*.fphファイルを読み込みます。



[メニュー-ファイル-FCアプリ データ読み込み-TREND-POINT ヒートマップ] からも起動可能。

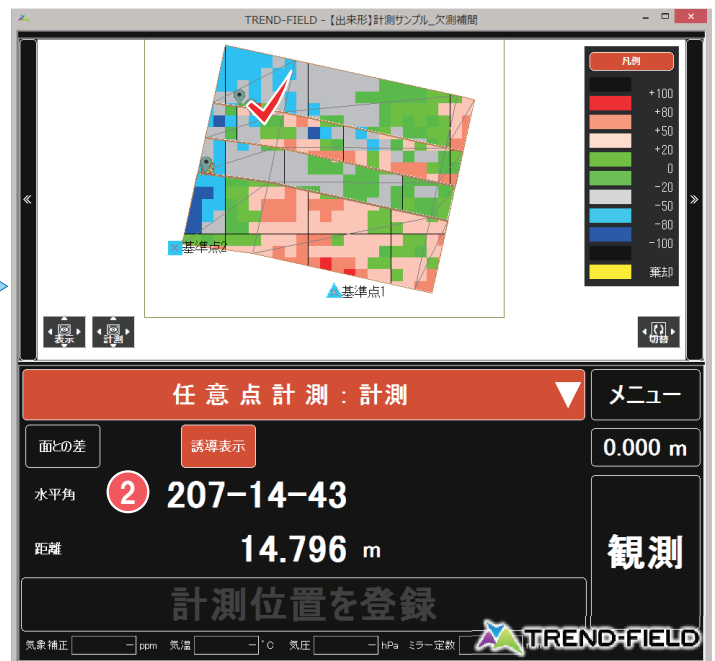
[メニュー-観測1-任意点計測-ヒートマップ (検査)] からも起動可能。

## 6-2. TREND-FIELDで評価結果に応じた再測および欠測補間

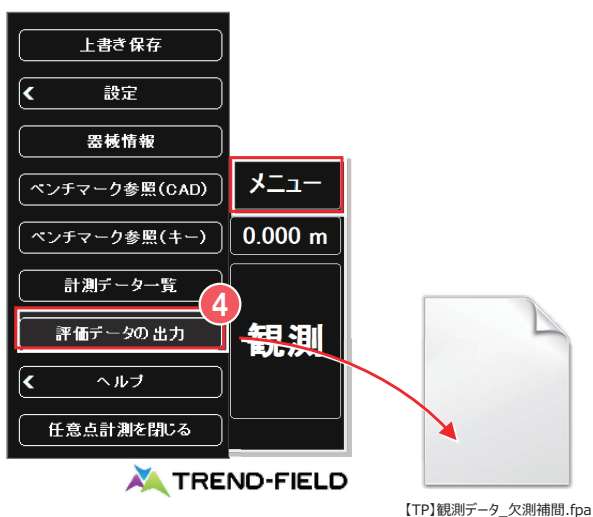
① [メニュー]観測1-任意点計測-ヒートマップ (欠測補間) をクリックします。



② 接続設定後、器械を設置します。計測箇所をクリックし計測します。



④ 確認後、[評価データの出力] をクリックします。 (\*\*\*.fpa保存)



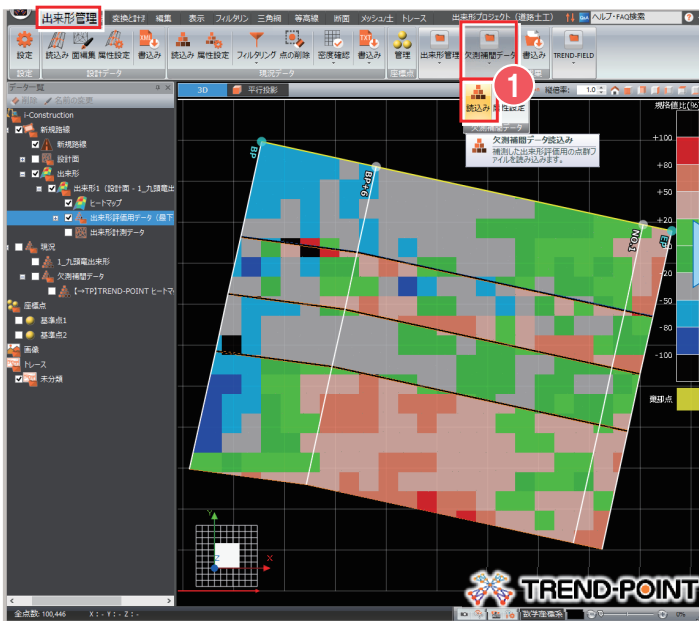
③ [メニュー] ボタンより [計測データ一覧] をクリックし、計測結果を確認します。



使用データ: 【出来形\_欠測補間】.XPTC  
 【TP】観測データ\_欠測補間.fpa

### 6-3. TREND-POINTで再測・欠測補間データの読み込み

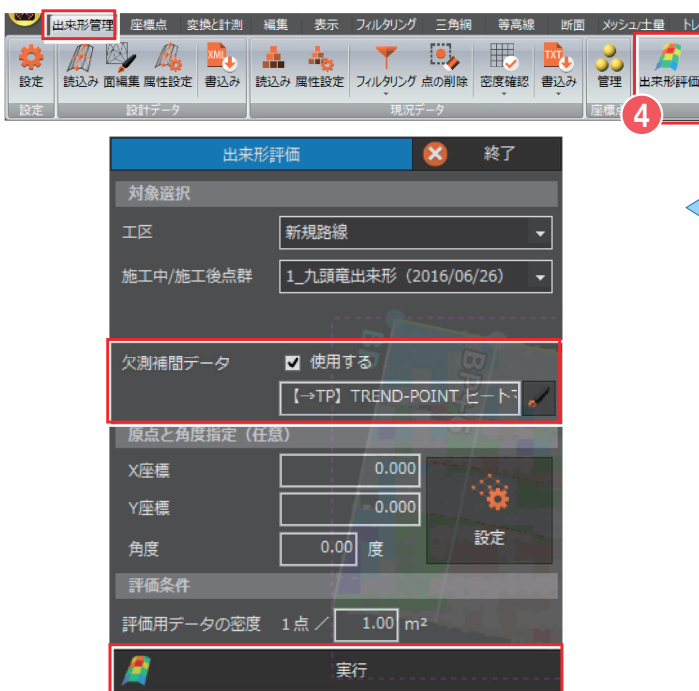
① [出来形管理] タブより  
 [欠測補間データ読み込み] をクリックします。



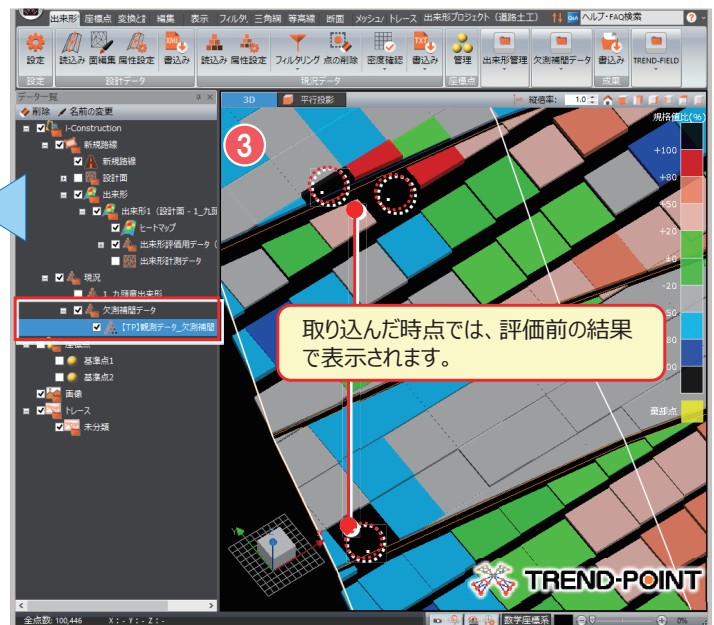
② [TREND-FIELD連携データ] をクリックし、\*\*\*.fpaファイルを読み込みます。



④ [出来形管理] タブより  
 [出来形評価] をクリックし、再度出来形評価を行います。



③ 再測・欠測補間データが取り込まれます。



## 6-4. TREND-POINTで補間後の再評価

① 再評価の結果より、評価点抽出方法を選択し、[確定]をクリックします。

出来形評価結果のレビュー

採用する評価点抽出方法を選択してください。

工種	道路土工		工区	新規路線		
	種別			路体盛土工		
測定項目	規格値	評価点抽出方法				
		<input checked="" type="radio"/> 最下点 (判定)	<input type="radio"/> 最上点 (判定)	<input type="radio"/> 中央値 (判定)	<input type="radio"/> 最頻値 (判定)	
天端 標高較差	平均値(mm)	±50	-35.1	40.0	-0.5	3.9
	最大値(差)(mm)	±150	148	298	227	274
	最小値(差)(mm)	±150	-118	-69	-84	-98
	データ数	1点/m <sup>2</sup> 以上	124	124	124	124
	評価面積(m <sup>2</sup> )		98.2	98.2	98.2	98.2
	棄却点数	0.3%未満	0	9	2	4
法面 標高較差	平均値(mm)	±80	12.3	42.6	26.3	29.5
	最大値(差)(mm)	±190	173	347	241	282
	最小値(差)(mm)	±190	-189	-177	-174	-195
	データ数	1点/m <sup>2</sup> 以上	337	337	337	337
	評価面積(m <sup>2</sup> )		262.1	262.1	262.1	262.1
	棄却点数	0.3%未満	0	6	2	9
総合判定 (全種別を総合した判定)			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

規格値段彩

表示設定

ばらつき表の表示

規格値比(%)

天端のばらつき

規格値の±80%以内のデータ数	123 (99.2%)
規格値の±50%以内のデータ数	92 (74.2%)

法面のばらつき

規格値の±80%以内のデータ数	323 (95.8%)
規格値の±50%以内のデータ数	258 (76.6%)

ヘルプ

TREND-POINT

確定

中止



③ 出来形成果を電子納品用に出力します。  
[出来形管理] タブより [書込み] をクリックします。

② 欠測補間データを用いて出来形評価を行ったことで、評価結果に反映されたことが確認できます。(データ一覧の出来形1のヒートマップを非表示にすると、確認しやすくなります。)

出来形管理

座標点

土量

トレス

出来形プロジェクト (道路土工)

ヘルプ

読み込み

面編集

属性設定

出来形評価

切盛編集

評価制御

表示

情報表示

読み込み

属性設定

書込み

設計データ

出来形管理

欠測補間データ

成果

成果書込み

出力対象の出来形データを設定してください

出力	工区	出来形
<input type="radio"/>	新規路線	出来形1 (設計面 - 1_カ頭電出来...
<input checked="" type="radio"/>	新規路線	出来形2 (設計面 - 1_九頭電出来...

三角網データ出力設定

3次元設計データ交換標準 (案) Ver1.1形式

LandXML1.2形式

出来形管理資料出力設定

出来形管理図表ファイル形式  PDF  Excel

ビューアを出力する (全データ)

図割割図を出力する

出力先  出力後にフォルダーを開く

C:\%FCAPP%\TREND-POINT\%OtherData

書込み

出来形評価結果

工種 道路土工

工区 新規路線

種別 路体盛土工

測点 BP ~ EP

判定 合格

測定項目	規格値	判定
平均値	-35.1mm	±50mm
最大値(差)	148mm	±150mm
最小値(差)	-118mm	±150mm
データ数	124	1点/m <sup>2</sup> 以上 (99点以上)
評価面積	98.2m <sup>2</sup>	
棄却点数	0	0.3%未満 (0点以下)
平均値	12.3mm	±80mm
最大値(差)	173mm	±190mm
最小値(差)	-189mm	±190mm
データ数	337	1点/m <sup>2</sup> 以上 (283点以上)
評価面積	262.1m <sup>2</sup>	
棄却点数	0	0.3%未満 (1点以下)

規格値比(%)

天端のばらつき

規格値の±80%以内のデータ数	123 (99.2%)
規格値の±50%以内のデータ数	92 (74.2%)

法面のばらつき

規格値の±80%以内のデータ数	323 (95.8%)
規格値の±50%以内のデータ数	258 (76.6%)

TREND-POINT